
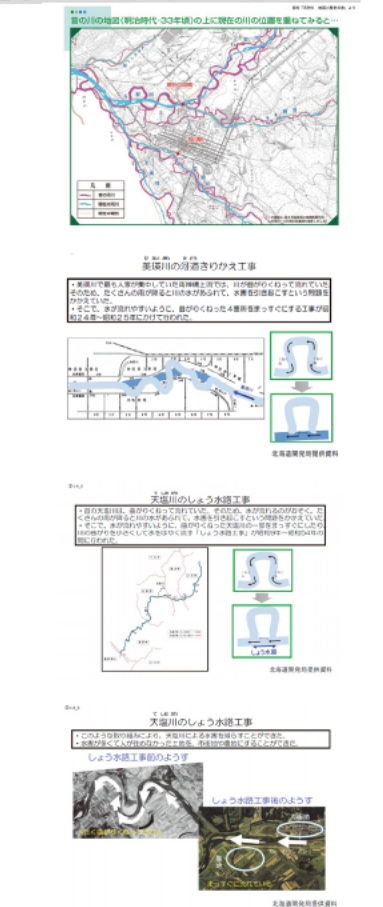




| 流れ | 発問計画(例)(T:先生、C:児童) | 指導上のポイント | 教材 | 補足資料教材 |
|----------|--|-------------------------------|---|--|
| 導入(計5分) | <p>前時の振り返り</p> <p>※【①-2 自然災害の写真】を見せる。□</p> <p>T:これまでに水害がたくさん起きていることを学びましたが、昔に比べて最近はまだ水に浸かってしまうことが少なくなっています。なぜでしょうか。</p> <p>課題：自然災害から私たちの暮らしを守る取り組みを調べよう。</p> <p>T:今日は、水害を中心に、自然災害から私たちの暮らしを守る取り組みについて調べましょう。</p> <p>※ワークシートを配る。◎</p> | | <p>【①-2 自然災害の写真】□</p>  | <p>【②-1-1 被害の映像～S56水害、H28 台風の被害の様子】</p>  <p>【①-2-補足教材1～4:被害の写真】</p> |
| 展開(計35分) | <p>T:川の水があふれないようにするためにつくられた施設がいくつかあります。</p> <p>T:皆さんはどんなものがあるか知っていますか。(C:ダム…)</p> <p>グループワーク 水害から暮らしを守る施設</p> <p>※【③-1-1 水害から暮らしを守る施設のイラスト】を見せる。□</p> <p>※【③-1-2 水害から暮らしを守る施設カード(グループ配布用)】を配る。△</p> <p>T:皆さんのグループに「水害から暮らしを守るための施設」の写真と説明のカードを配りました。説明カードが、どの写真の説明なのか、組み合わせをグループで考えてみましょう。</p> <p>※【③-1-2 水害から暮らしを守る施設カード(板書用)】を見せる。□</p> <p>※【③-1-1 水害から暮らしを守る施設のイラスト(配布用)】を配る。△</p> <p>(ひととおり意見が出たら、板書用のカードを黒板に並べて貼って答え合わせをする。)</p> <p>T:水害から暮らしを守るどのような施設がありましたか。</p> <p>T:みなさんも知っている永山新川は、牛朱別川の水が増えて、あふれてしまう前に、川の水を早く大きな石狩川へと流すために作られた分水路です。</p> | <p>・水害から暮らしを守る施設とその役割を学ぶ。</p> | <p>【③-1-1 水害から暮らしを守る施設のイラスト】□</p>  <p>【③-1-2 水害から暮らしを守る施設カード】△□</p>  <p>【③-1-1 水害から暮らしを守る施設のイラスト】△</p>  | |

| | | | | |
|----------------|---|---|---|--|
| II 10 分 | <p>先人たちの取り組み</p> <p>※【③-1-3 先人たちの取組】を見せる。□</p> <p>※【③-1-4 昔と現在の旭川市】を見せる。□</p> <p>T:水害から暮らしを守る取り組みは、昔から行われてきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の石狩川や天塩川は曲がりくねって流れていました。 ・そのため、水が流れるのが遅く、たくさんの雨が降ると川の水があふれて、水害を引き起こすという問題がありました。 ・大正6年、岡崎文吉博士により、曲がりくねった川の一部をまっすぐに結んで、水を早く流す「捷水路」工事が提案されました。そして、その工事が次々に行われました。 ・このような取り組みにより、水害を減らすことができました。そして、水害が多くて人が住めなかった広大な土地がまちや田畑になりました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの地域を守るために、先人が取り組んできたこと、この取り組みによって、人々の暮らしに恵みをもたらしていることを学ぶ。 | <p>【③-1-3 先人たちの取組】□</p>  <p>【③-1-4 昔と現在の旭川市】□</p>  | |
| III 10 分 | <p>自然災害から暮らしを守る施設</p> <p>※【③-1-5 自然災害から暮らしを守る施設の写真】を見せる。□</p> <p>※(教科書を使って説明)</p> <p>T:水害から暮らしを守る施設について見てきましたが、水害だけでなく色々な自然災害からまちを守るための施設が作られています。</p> <p>T:国や都道府県による取組のことを「公共事業」と言います。水害だけでなく、色々な自然災害からまちを守るための「公共事業」が行われています。</p> <p>(【③-1-5 自然災害から暮らしを守る施設の写真】とワークシート4.の穴埋めを使って施設の役割を確認する)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・水害だけでなく様々な自然災害からまちを守る施設があることを学ぶ。 | <p>【教科書 P44.45】</p> <p>【③-1-5 自然災害から暮らしを守る施設の写真】□</p>  | |
| 終末(5分) | <p>T:今日学んだことを振り返りシートに書きましょう。</p> <p>※本時のワークシートの【学んだこと】に記入させる。</p> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害から私たちの暮らしを守るために、様々な施設が公共事業で作られている。 ・昔から地域を守るための取り組みが行われている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「自助」に対する「公助」として「公共事業」について理解できるようにする。 | | |


課題：自然災害からわたしたちの暮らしを守るための取り組みを調べよう。

「水害から暮らしを守る施設」



水害から守る施設を作っているのは国や都道府県、市町村。=「公共事業」=「公助」

「先人たちの取り組み」



昔から地域を守るための取り組みが行われ、暮らしに恵みをもたらしている。

「自然災害から暮らしを守る施設」

- ・津波 → 避難タワー
- ・土砂くずれ → 砂防ダム
- ・なだれ → 防止さく

まとめ：・自然災害からわたしたちの暮らしを守るために、様々な施設が公共事業で作られている。・昔から地域を守るための取り組みが行われている。